■第 13 回助成団体の所在地



■助成団体交流会について

「TOTO水環境基金」では、助成団体のネットワークづくりや活動のステップアップ支援を目的として、2013年度より「助成団体交流会」を開催しています。

今年は3月9日(金)に、TOTOミュージアム(福岡県・北九州市)で開催します。助成が決定した団体への説明会、第12回の助成団体(2団体)による事例発表、懇親会等で交流を図る予定です。



過去の「助成団体交流会」の様子

■第 13 回「TOTO水環境基金」助成団体一覧

	団体名	プロジェクト名	活動地域	活動内容	助成期間		
					2018 年度	2019 年度	2020 年度
1	特定非営利活動法人リアスの森応援隊	豊かな海と森を作 る自伐林業家の 養成	宮城県	気仙沼市において、豊かな海を育むことにもつながる森林整備を行う人材を継続的に養成し、森林保全、生業支援、担い手の移住・定住促進を目的として2015年に設立。当地において、植林は積極的に行われているものの、林業を生業とする人が激減していることから、森林整備が全く行き届いていない。そこで自伐林業家養成塾「森のアカデミー」を開講して自伐林業家を育成しており、今までに500以上の卒塾生を輩出、150人以上が自伐林業家として地域の森林整備にあたっている。引き続き人材育成と森林保全活動を推進するとともに、多くの人が森林に触れ合いながら、森林整備の必要性を啓蒙するイベントを開催する。	0	0	0

	団体名	プロジェクト名	活動地域	活動内容	助成期間		
					2018 年度	2019 年度	2020 年度
2	御前山ダム環境センター	御前山ビオトープ 及び御前山ダム 周辺における希 少動植物の保全・ 育成活動と環境 整備	茨城県	御前山の豊かな自然環境の維持・保全を目指し、一般市民を対象としたビオトープつくりを始めとする環境対策と地域の幅広い取り組みを連携させ、総合的・持続的に進めることによって地域の振興に貢献することを目的に 2009 年に設立。希少動植物の保全・育成活動、一般市民を迎えてエノキの植栽、水源林の保全、地元小・中学生との自然観察会等を実施している。約 250 本のヤマザクラの植裁、希少動植物の保全・育成、御前山ダム周辺の水源林の保全活動を行う。	0	_	-
3	ほたる野を守る NORA の会	「きみとぼくの心の故郷を次世代に!」田んぼのある里山「ほたる野」を皆さまの心の故郷に!	千葉県	活動地域である習志野市実籾(みもみ)地区は、かつては通称「ほたる野」と呼ばれ、初夏には平家ほたるが乱舞する斜面林を有する里山であった。良好な自然環境にしか生息できない「ほたる」をこの里山のシンボルとし、将来に向けて絶滅させないよう、1992 年に団体を設立して環境保護を開始した。里山を守るため、老齢化地主の稲作業を支え、無農薬稲作を行い、親子・小学生との米作り体験(田植え・稲刈り・餠っき)やほたるの自然回帰活動・食育活動によって自然を感じてもらい、自然環境を次世代に引き継いでいく。里山の現状把握(生態系調査・水質調査)、環境維持の指標作成、ほたるの自然回帰のため実験場の整備等の活動を推進する。	0	0	0
4	一般社団法人 サーフライダーフ ァウンデーション ジャパン	海岸のビーチクリーンを通じた水環境への意識向上	神奈川県	団体の母体であるサーフライダーファウンデーションは、カリフォルニアのサーファー達が自主的に始めたサーフポイントの水質調査活動がルーツとなり、現在世界23カ国で活動、約25万人のメンバーを有する国際環境NGO。日本では1993年から活動を開始し、2011年に団体設立。主に湘南エリアを中心に、海に関連するイベント・展示会等に参加して海岸の環境美化についての啓蒙活動、ビーチクリーンを実施している。一年を通して定期的な「ビーチクリーン&海の学び」を実施することにより、海岸環境の改善と次世代につながる環境教育を促進する。	0	0	0
5	特定非営利活動 法人 小網代野外活動 調整会議	小網代の森「やしゃぶし谷戸」におけるホタル舞う水辺環境の創出	神奈川県	三浦半島「小網代の森」は、森の中央にある谷に沿って流れる「浦の川」の集水域として、森林、湿地、干潟および海へとつながる一連の自然が残されており、関東地方で唯一の自然環境と言われている。当地の保全活用を進めるため 2005 年に団体設立、県・三浦市・かながわトラストみどり財団と協働して湿地の保全や植生回復などの活動を推進している。活動の成果として、絶滅危惧種や湿原植生の回復が確認できるようになってきている。小網代の森の北部に位置する「やしゃぶし谷戸」エリアにおいて、ゲンジボタル・ヘイケボタルの生息範囲の拡大を図るとともに、基底流出を増やす工夫を各所で実施することによって、地下水涵養による湿原環境の維持等を進めていく。	0	0	0

	団体名	プロジェクト名	活動地域	活動内容	助成期間		
					2018 年度	2019 年度	2020 年度
6	笹尾川水辺の楽 校運営協議会	水辺の楽校を拠 点とする河川環境 整備と水環境啓 発運動	福岡県	笹尾川は昔、貴重な舟運水路の一部として長い歴史を持つと同時に、北九州市の水道水源になっており、河川の環境を保全し、水質の保全・向上を図っていくことが重要である。そのため、当団体では、自然と触れあい、水辺と関わる親水施設および環境学習の場として「笹尾川水辺の楽校」を開講した。河川の維持管理としての除草・清掃および環境整備の一環として芝谷橋の橋脚への壁画作成を行う。また、現地でのカヌー体験、水環境教育等を通して、参加した地域の子ども、大人の川への関心を高めることにより、自分たちの手で河川を大事にし、河川環境を守ろうという心を育てる。	0	0	0
7	特定非営利活動 法人 ハロハロ	沿岸水環境の保 全のためのマング ローブ植樹とごみ 対策事業	フィリピン 共和国	フィリピン全土において、自立支援のための廃材を活用した雑貨製作・流通販売に端を発し、地域を変える「人」と「組織」の育成に取組むために2012年に設立。 JICAや日本国際協力財団の支援のもと、貧困地域の生計向上事業で成果を収め、現在では、教育支援としての幼稚園運営や奨金制度、啓発活動としての環境美化等に事業を拡大し、課題の解決に取組んでいる。 沿岸環境の悪化により住民の収入源である海藻事業が破綻したアルマー島において、マングローブ植樹および地域住民自らが中心となってゴミを回収・処理を行なっていく持続可能なシステムを構築し、環境保全による生計向上を図る。	0	_	-
8	認定特定非営利 活動法人 難民を助ける会	山村の女子児童 の健康を守る、 水とトイレのプロ ジェクト	パキスタ ン・イスラ ム共和国	インドシナ難民を支援するために、政治・思想・宗教に偏らない市民団体として 1979 年に設立。緊急・人道支援を行なう日本生まれの国際 NGO として、これまでに約60 の国や地域で活動を行っている。1997 年には、地雷禁止国際キャンペーンの主要メンバーとしてノーベル平和賞を共同受賞している。重点分野である衛生事業において、パキスタンの公立女子小学校の衛生設備建設等に取り組んでおり、トイレの設置等を行うことで、女子児童が尊厳をもって学校生活を送ることができる環境を整える。	0	_	-
9	認定特定非営利 活動法人 ICA文化事業 協会	インド干ばつ地域 での飲料水確保 のための井戸再 生事業	インド	1970 年に任意団体として活動を開始。ICA 本部(カナダ)および世界 30 カ国のメンバー団体と協力し、住民主体の地域開発、復興、貧困削減等の支援活動を実施しており、活動国は 22 カ国以上にわたる。今回の活動地であるインド北西部において、食料不足問題の改善に向けた乾燥地農業を指導する JICA との協働事業を開始する予定であるが、同地区において、飲料水問題も早急に解決を要する課題であるため、古井戸の再生を行い、女性の労働軽減、家庭菜園の実施、衛生面の向上を図る。	0	_	-
10	認定特定非営利 活動法人 道普請人	ケニア自然水源 の衛生的な利用 環境整備と衛生 教育	ケニア 共和国	「開発途上国の問題は、現地に適したやり方で、そこに住む人々自身で解決する」ことの実現を目指し、2007年に設立。「土のう工法」による道づくりを中心に、エンジニアとしての技術開発、現地住民への技術移転、定着化を世界各地で工夫をしながら進めている。活動および技術支援で関与している国は25カ国にわたり、整備した道は総延長156.35kmにおよぶ。道づくりに併せて現地の生活環境改善にも取組んでおり、適切な水源保全がなされていないケニアにおいて、人と動物を分離した水源整備、集水性を高めるための植樹、住民への衛生教育を行うことにより、保健衛生上の課題解決を図る。	0	_	-